

### 3-6 伊豆大島における微小地震の臨時観測について

#### Temporal Microearthquake Observations in Izu-Oshima

東京大学地震研究所

地震予知観測室

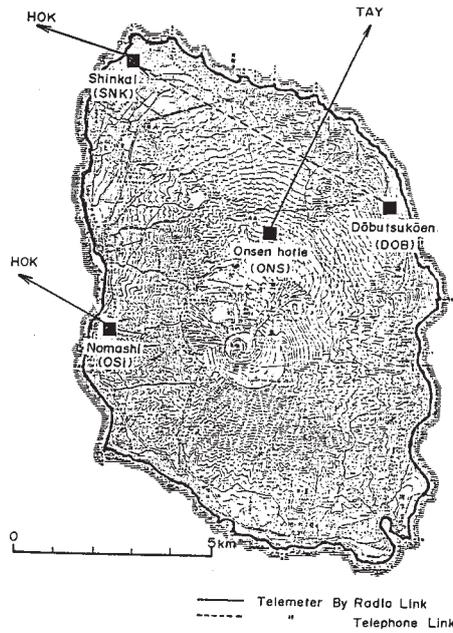
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

1984年8月30日頃からはじまった伊豆半島東方沖の群発活動にともない9月5日～7日、11日～14日に伊豆大島島内および周辺で顕著な群発活動がみられた。この活動に際し、伊豆大島に臨時観測点を設置した。観測点分布を第1図に示す。野増またはOSIは従来からの観測点であり、新開(SNK)、動物公園(DOB)および温泉ホテル(ONS)が新設点である。DOBとSNKは有線、SNKから箒木山(HOK)無線中継で、またONSは武山(TAY)無線中継で東京、地震研究所と結ばれている。

第2図は島内の観測点による震源決定結果(9月23日～11月8日)である。島の西岸沖から島内を東西によぎる分布の他、島の北岸と南岸に若干の活動が認められる。

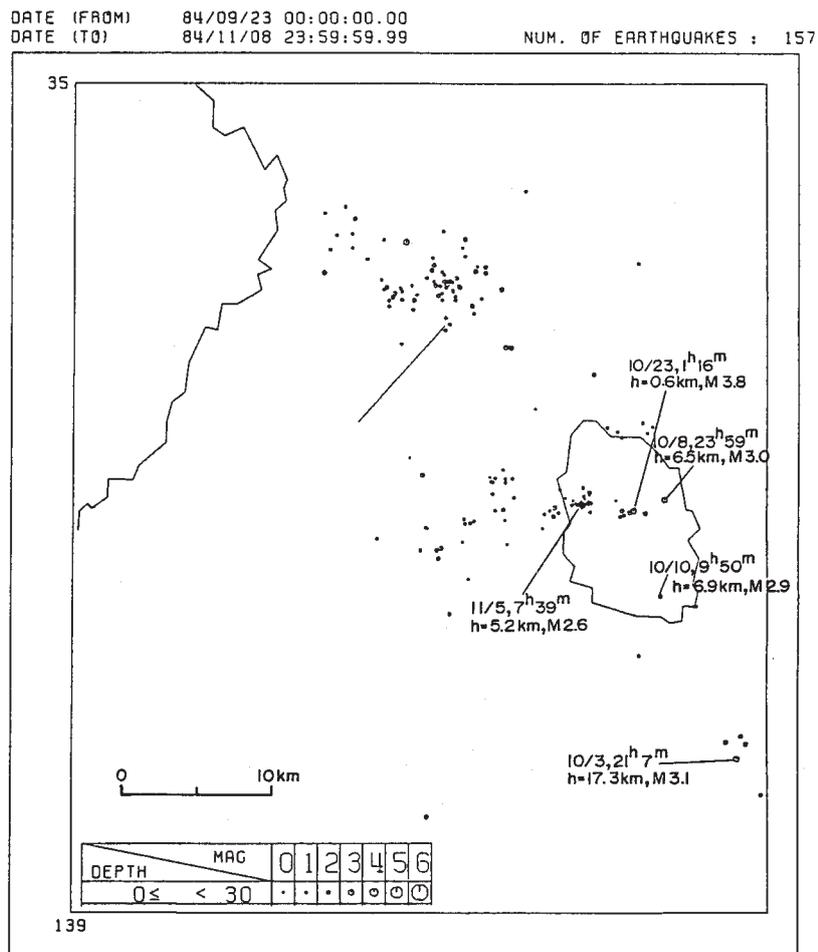
第3図は4つの地震についての観測波形例である。(4)の地震についてみると島の中心部を波が西からよぎると東岸の観測点(DOB)は著しく減衰することを示している。

第4図は1984年10月23日および11月5日の温泉ホテル観測点(ONS)での群発地震記録である。



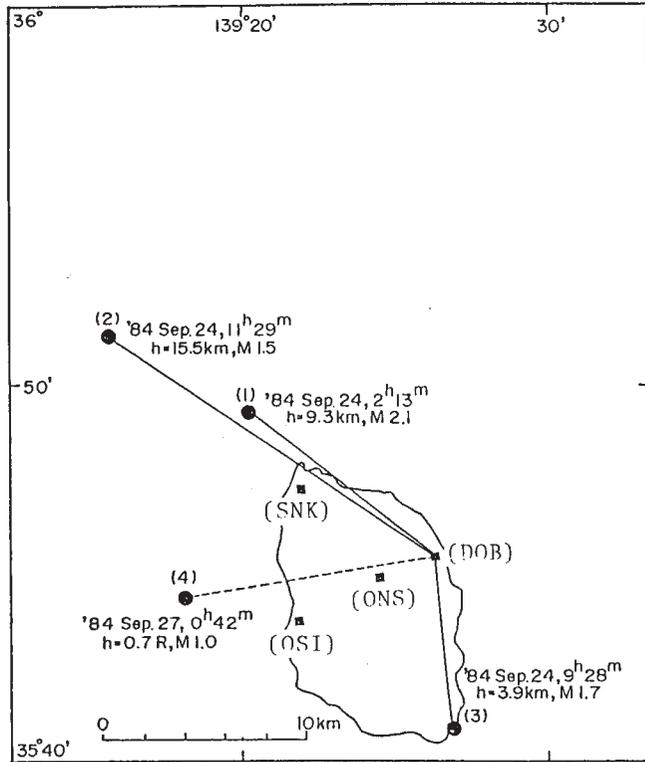
第1図 伊豆大島における臨時テレメータ観測点の配列

Fig. 1 Distribution of the temporal telemetering seismic network in Izu-Oshima.



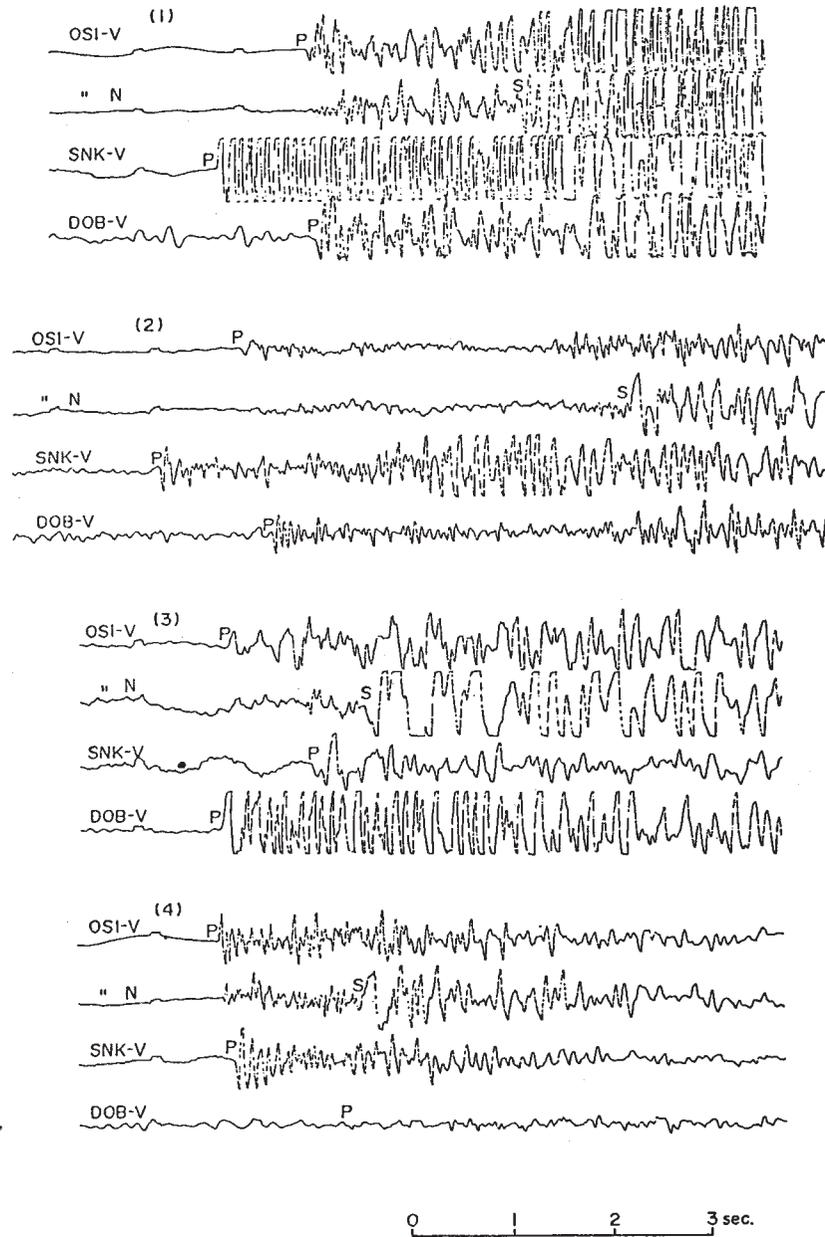
第2図 臨時観測点ネットによる伊豆大島およびその周辺の微小地震分布図

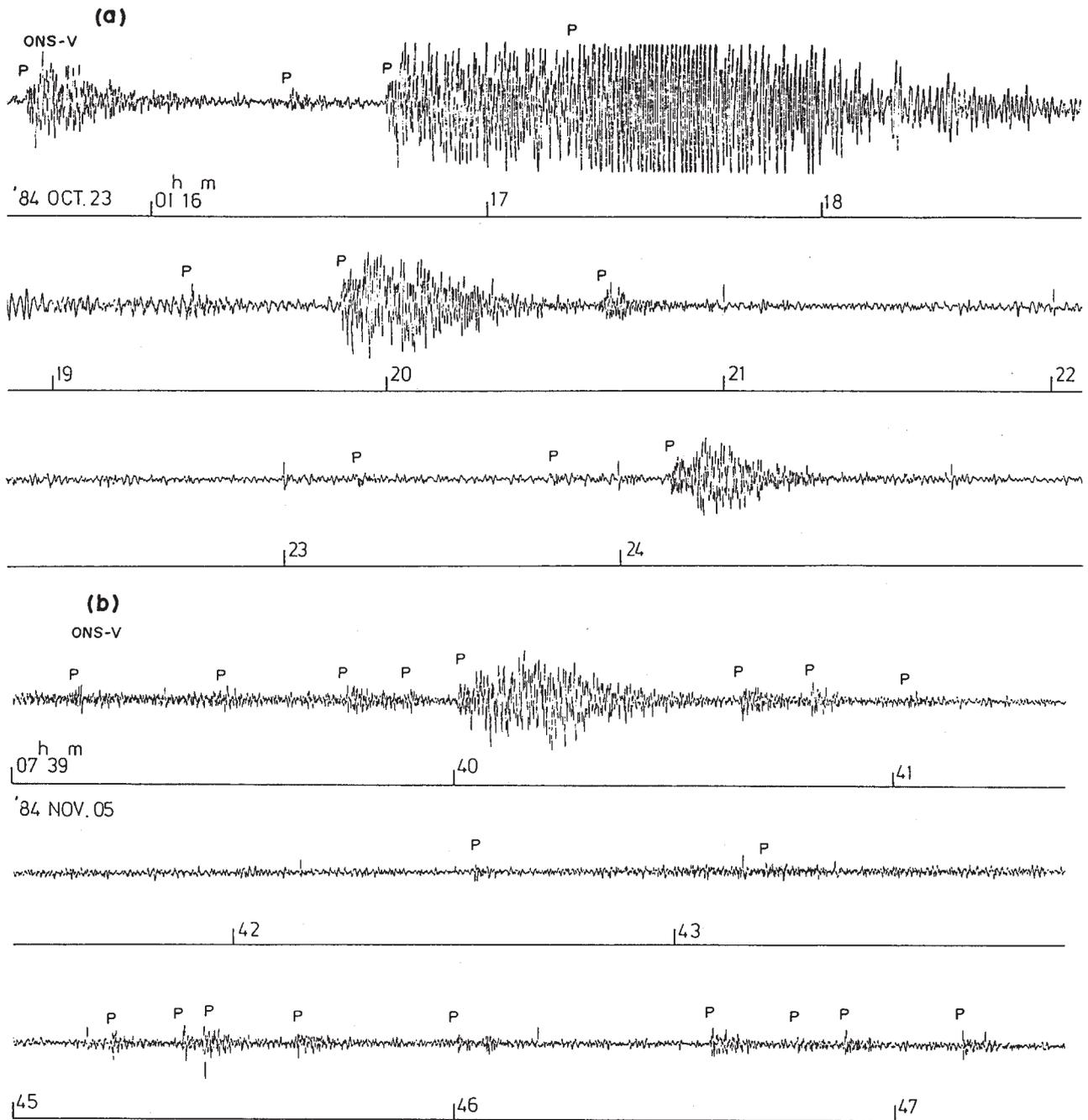
Fig. 2 Microearthquake distribution located by the temporal seismic network in Izu-Oshima for the period from September 23 to November 8, 1984.



第3図 大島 (OSI), 新開 (SNK), 動物公園 (DOB) の各観測点における地震波記録例

Fig. 3 Examples of seismic records at the station OSI, SNK, DOB, for the earthquakes in and near Izu-Oshima.





第4図 伊豆大島内における群発地震活動の記録例

(a) 1984年10月3日

(b) 1984年11月5日

Fig. 4 Seismic records of swarm activities in Izu-Oshima. (a) October 23, 1984, (b) November 5, 1984.